

《 上 野 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：9月10日（火） 午後1時から（会 場：上野区民館）

◇空き家対策について

質問	回答	対応
町内に空き家があり、ここ数年立ち寄った様子がありません。東日本大震災では被害はありませんでしたが、害虫、ねずみ、耐震、放火等、町内の方も不安に感じています。 何か区として対策を希望します。	区でも年々新たな空き家が発生していることは認識しています。 そのため、区では調査を行なっていますが、ご連絡をいただいた場合にも現場確認を行い、周辺に対して危険な状況が確認できれば、所有者を探して維持管理について指導してまいります。 所有者を特定するための作業や、所有者が対応するまでに時間が掛かることがあります。粘り強く対応しています。 担当の建築課からご連絡しますので、ご心配の場所について、具体的にお伝えいただければと思います。 ※令和6年9月、質問者に状況を確認し、これまでの経過および今後の対応について説明しました。（建築課）	○

◇放置自転車について

質問	回答	対応
以前よりお願いしていますが、放置自転車は上野や御徒町の繁華街では大きな問題になっていて、抜本的な対策が求められています。 撤去回数を増やすなど、新しい対策を考えていただきたいです。	上野駅や御徒町駅など、放置自転車が多くみられる主要駅周辺については、指導整理区域として巡回指導員による指導と警告を行った後に、即日撤去しています。 なお、ABAB周辺に関しては、巡回は毎日行っており、撤去も定期的に行なっています。 今後についても、巡回指導員による指導や撤去等を通じて、放置自転車の抑制と歩行者の安全確保に努めてまいります。また、台東区の実情に沿ったより効果的な対策を検討してまいります。	☆

◇PFASについて

質問	回答	対応
地下水に含まれる有機フッ素化合物PFASの目標値が上回っていることに不安があります。 災害時、飲み水となる可能性のある避難所井戸水の対策などをお聞かせください。	区では災害時の断水に備え、飲み水として利用することはできませんが、生活用水としての浅井戸を38か所、また濾過装置を備えた深井戸を10か所整備しています。 断水時の対応としては、まずは地域の応急給水栓や消火栓から給水を行うこととなります。 ただし、そのような給水拠点から水を取ることができない場合、区が整備している最寄りの深井戸を活用することになり、深井戸に備えている濾過装置は、PFASを人体に影響がないレベルまで取り除くことができます。	—

◇歴史的建造物の保護について

質問	回答	対応
池之端3丁目にある「旧忍旅館」という東京都の歴史的建造物になっている建物があり、所有者が旅館として再生したいとの希望があるそうですが、文教地区であるため旅館業の再開が認められないそうです。 その場合、現在の建物の維持が困難になるため、取り壊して売却することを検討されています。 歴史と文化を重視する台東区として、何らかの対応ができないでしょうか。	「旧忍旅館」は昭和4年に旅館として建てられ、現在は「東京都選定歴史的建造物」に選定されています。 その後、昭和25年に「東京都文教地区建築条例」が制定され、これに基づき、このあたりの区域が「文教地区」に指定されました。文教地区は、主に大学周辺の文教環境の保護を目的としており、旅館の建築等は禁止されています。 「旧忍旅館」は条例制定前に建てられていたため、当初は旅館として建築が可能な状況でした。しかし、その後に別の用途で使用している場合、再度の旅館業への用途変更は条例の適用となってしまうため、再開は難しい状況です。 なお、所有者の方に文化財指定の意向があれば、教育委員会において登録有形文化財に登録するよう、国に意見具申することが可能です。登録された場合は、修理事業の設計監理事業や美観向上整備事業に関する国の補助金がございます。	—